

原子爆弾救護報告	5	189
内容概要	7	189
第一章 原子爆弾に関する想像	17	195
第一項 原子の爆発	17	195
第二項 爆撃の状況	21	197
第三項 原子爆弾の作用	29	200
第二章 放射線障害の概要	39	204
第三章 本隊の行動	43	206
第一項 爆撃当日	43	206
第二項 第二、第三日	63	214
第三項 三山救護班	69	217
第四章 今回患者の呈したる症状	77	221
第一項 症状の分類	77	221
第二項 各症状の詳細	80	222
第五章 今回患者の諸統計	95	230
第一項 全般に関する統計	95	230
第二項 各障害別における統計	100	234
第三項 死亡者に関する統計	121	250
第六章 治療法	125	254

第一項	環境療法	125	254
第二項	鉱泉療法	128	255
第三項	自家移血刺戟療法	131	257
第四項	一般対症療法	133	258
第七章	将来の予想と対策	139	261
第一項	爆心地居住の問題	139	261
第二項	人体に起る障害	142	263
第三項	農作物	145	264
第八章	考察	147	266
第一項	爆弾	147	266
第二項	人体損傷	155	270
第三項	治療	161	273
第九章	反省	163	274
第一項	事前準備	163	274
第二項	爆撃以後	166	275
第十章	結 辞	175	280
付 表	患者名簿	179	283
	「救護報告」を読んで	189	289
	あとがき 資料公刊にあたって	315	315
	西森 一正		
	佐藤純一郎		